

シンポジウム「ポルノ被害と女性・子どもの人権」

「表現の自由」の名のもとで、女性や子どもの人権が侵されていないか。ポルノグラフィに関わる様々な被害を白日のもとに曝し、広く国民的な社会問題にしていかななくてはならない。そのワークショップの第1弾です。



- 主催者挨拶 横田千代子 (婦人保護施設長)
- 基調報告 「子どもを標的にするポルノの実態」 中里見博 (福島大学准教授)
「ポルノ・性風俗の世界で生き、見てきたもの」 田原めぐみ [仮名]
- パネルディスカッション
コーディネーター：宮本節子
 - 現場から / 細金和子 (婦人保護施設長)
 - 法学から / 中里見博 (福島大学准教授)
 - 性教育から / 浅井春夫 (立教大学教授)

日時： 2009年10月3日 (土) 午後1:00～5:00
場所： 立教大学 [池袋校舎8号館8201教室]
池袋駅西口東武デパート口から徒歩7分 / 池袋地下道C3出口から徒歩2分
資料代： 1,000円

【主催】 ポルノ被害と性暴力を考える会

【後援】 日本ユニセフ協会、東京都社会福祉協議会、全国女性シェルターネット、株式会社福祉新聞社

【賛同団体】 売買取断問題ととりくむ会、ポルノ・買春問題研究会、社会福祉法人森の会・広域地域ケアセンターバオバブ、社会福祉法人けやきの社、性を語る会、社会福祉法人わしの里・大浜工房、特活)ちゅらネット、社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン、人身売買禁止ネットワーク、NPO 法人みのり会、ウィメンズカウンセリング京都、NPO 法人 SEAN、NPO 法人女のスペース・おん、社会福祉法人子どもの虐待防止センター、全国婦人保護施設等連絡協議会、東京都社会福祉協議会児童部会、東京都社会福祉協議会婦人保護部会、日本キリスト教婦人矯風会、特定非営利活動法人女のスペース・ながおか、救世軍本営、東京母親大会連絡会、特定非営利活動法人博多ウィメンズカウンセリング、特定非営利活動法人男女平等参画推進みなと、WEST らいず、ECPAT/ ストップ子ども買春の会、多摩でDVを考える会、社会福祉法人ベテスタグ奉仕女母の家、社会福祉法人慈愛会、社会福祉法人愛隣会(母子生活支援施設：氷川荘、知的障害者更生施設：目黒恵風寮、知的障害者通所施設：あゆみ園、児童養護施設：目黒若葉寮、のぞみ保育園) 特定非営利活動法人アーシャ、PEACE 暴力防止トレーニングセンター、特定非営利活動法人フェミニストカウンセリング神戸、特定非営利活動法人サバイバルネット・ライフ、女性サポート・おおさか、F T C アドボカシーセンター、認定特定非営利活動法人ウイメンズハウスとちぎ、特定非営利活動法人フェミニストサポートセンター・東海

お問い合わせ：Fax 024-548-8324 (担当：中里見)